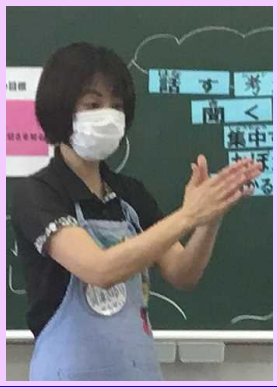
第４号　本小の教育「授業研修会」　5年全組

・インクルシーブ教育「特設・脳の引き出し」

本日の特設授業は、「サブリーダーである５年生」に対して、特別支援教育コーディネーターの「河津さゆり」先生の『脳の引き出し』が行われました。１校時に、５年３組（高良佳子先生）、２校時目、５年２組（久高有香子先生）、４校時目、５年１組（多嘉山静香先生）で実施しました。「さゆり先生」は、『セロトニン』１つで、各学年、各学級の子ども達の実態や雰囲気を掴み、授業を微妙に変化させながら実践じていました。実にスゴイ！　検証をして紹介したいと思う。これからの支援・指導へと「繋がねば」との思いを強く持ちました。

■ 5学年「河津さゆり（多嘉山 静香、久高 有香子、高良 佳子）」



【児童の手（学習規律）】

5の1

①	ありがとうが云える	3
②	約束を守る	1
③	ゴメンねが云える	3
④	ゆるしてあげる	3
⑤	そうだんする	1
⑥	なかまに入れる	2
⑦	気持ちを話す	1
⑧	カッとならない	2
⑨	まってあげる	2
⑩	ガマンする	1

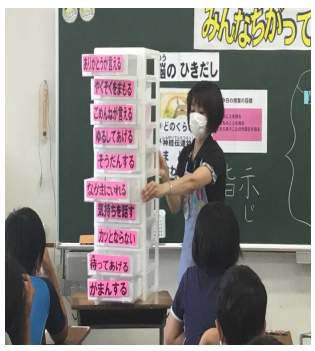
5の2

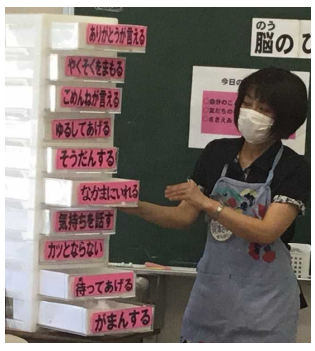
①	ありがとうが云える	3
②	約束を守る	2
③	ゴメンねが云える	2
④	ゆるしてあげる	1
⑤	そうだんする	0
⑥	なかまに入れる	3
⑦	気持ちを話す	1
⑧	カッとならない	1
⑨	まってあげる	3
⑩	ガマンする	3

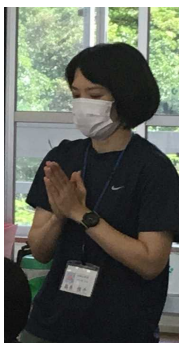
5の3

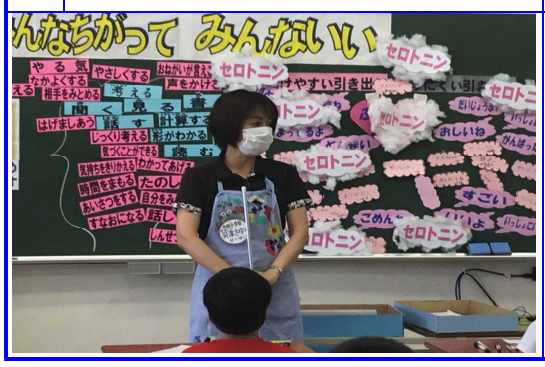
①	ありがとうが云える	2
②	約束を守る	1
③	ゴメンねが云える	1
④	ゆるしてあげる	0
⑤	そうだんする	1
⑥	なかまに入れる	2
⑦	気持ちを話す	1
⑧	カッとならない	0
⑨	まってあげる	2
⑩	ガマンする	3

【教室の色（支持的風土）】

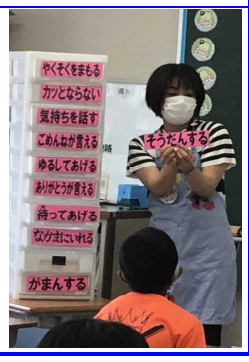








「そうだんする」を手に！



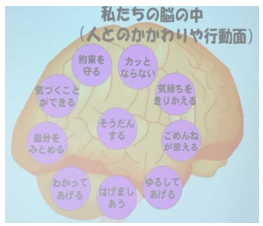
師の眼（教師の姿勢）】

■５学年で共通（理解）実践している事！

①「黙想」「語先後礼」＝学年びらきで共通確認と共通実践を図っていた。教室掲示。
②「UD化」：ロッカーの整理・整頓の仕方を写真で提示しロッカー横に掲示してる。

■「似顔絵入り、誕生月」を教室掲示。

●五年生全体的な雰囲気が良い。上級生として、サブリーダーとして意識が高い。
●ただ、人との関わりや行動に関する「脳の引き出し」は開きづらいモノが多い。



●「中学年」と「高学年」で、人との関わりや行動面の順位が異なるそうです。
●先ず「自己」を優先する中学年に対して、他との関わりが重要になる「高学年」との差であるらしい。

●「さゆり先生」のスゴイところは、毎時間後の反省点や気になったとこを直ぐに工夫・改善できるところである。
●「自己肯定感」が高く、「故郷愛」が非常に高い本校の子ども達ではあるが、心の中には、色々のモノを抱えているようだ。
●これらの、人間関係や感情面の課題を克服できる力と、仲間を創りあげる支援を続けていかねばならないと痛感した。

【感想】　**「脳の引き出し」**、特別支援に関する大切な「特設授業」でした。 本当に有難うございました。♥

○ 教師「さゆり」は、ハンパない。「教師力」もＧｏｏｄ！。容姿端麗もＧｏｏｄ！（子共の声です。）
○「演技力」もＧ！。「しゃべくり（テンポ良い口調）」Ｇ！。「テクニック」Ｇ！．「５Ｇの女」である。
○ 昨年、「ジョハリの窓」に少し触れた。今年は、それも取り入れて「進化」している。素晴らしい！
○ ５学年の共通理解・共通実践に、「５Ｇの女」が化学変化をもたらした。子共達の「育ち」は必然だ。
○ 特別支援を要する子だけでなく、全ての子共・教師の「心の、脳の引き出し」を開けてくれる内容だ。
○ 今回の「脳の引き出し」を通して、本年度の「学推PPⅡ」「校内研」「人間力向上」が、見えて来た。

校長より